

十勝の研究活動

研修部副部長 新得町立屈足南小学校

校長 和賀 和人

1. はじめに

十勝小・中校長会は、これまでの教育研究の成果と課題を踏まえるとともに、第2期教育振興基本計画や北海道教育の基本理念・十勝管内教育推進計画などを指針にした第16次3か年計画を昨年度末に策定した。今日学校教育に求められている諸課題に具体的かつ的確に対応しながら、管内教育の改善・充実を図ることが目的である。そのような中、8月6～7日に開催した第46回十勝小・中校長会教育研究大会は、その1年次として当校長会の合言葉「結びあい・高めあい」のもと、新たな取組を加えて成功裏に終了した。



また本年度は、道小研渡島・北斗大会及び道中研釧路・弟子屈大会それぞれで提言発表の機会をいただき、管内全校長によるアンケート調査をもとに組織としての取組の実態や今後の方向性を示すことができたことは大きな成果であった。秋には、本年度の研究の成果と課題について意識の共有化を図るための研究集録を発行し、当校長会の研修の充実に努めた。

2. 第46回十勝小・中校長会教育研究大会から

(1) 総括主題

『ふるさと十勝から、新しい時代を切り拓き、心豊かに、社会を生き抜く力をはぐくむ小・中学校教育の推進』

(2) 研究大会の趣旨

変化の激しい社会において、子どもたちが心豊かにたくましく生き抜いていくためには、一人一人が能動的に学び続ける中で、学んだ成果を実社会に生かしていくことが大切である。そのため、学校は、「生きる力」の理念のもと、学校教育法で明示された学力の三要素の育成を図る中で、知・徳・体の調和のとれた子どもたちを育む学校経営を推進することが求められている。とりわけ、十勝管内の各学校においては、ふるさと十勝の地域性を生かし、活力に満ちた魅力あふれる学校づくりが期待されていることから、私たちは、十勝の風土に刻まれた歴史と先人の志を継承しつつも、新たな方向性に向けてこれまで以上に保護者や地域の期待に応える創意工夫を生かした教育を推進することが必要である。

このことから、本研究大会は、「組織・運営」「教育課程」「危機管理」「教育課題」の四つの分科会を設け、具体的な課題解決に資する組織的な研究活動を通して、確かな見識やリーダーシップ、マネジメント能力を高めあうことを目的とする。

(3) 分科会

●第1分科会（組織・運営）

- 研究課題：創意あふれる経営ビジョンに基づく活力ある組織運営と校長の在り方
- 今年度の研究内容：今日的諸課題への対応力の高い活力ある組織づくり

◇提言：士幌町立佐倉小学校 濱 口 重 則

◇キーワード：評価に基づくグランドデザインの作成と説明責任，解決策の明示，今日的課題の共有とその対応，教職員の経営参画意識の高揚と組織づくり

●第2分科会（教育課程）

○研究課題：生き抜く力の育成を目指す質の高い教育課程と校長の在り方

○今年度の研究内容：基礎・基本の確実な習得を図り，確かな学力を保障する教育課程の改善・充実

◇提言：音更町立柳町小学校 横 山 利 幸

◇キーワード：教育課程改善の必要性や方向性の明確化と教職員の共通理解，研修を基盤とした体制づくりと授業力向上，教育課程マネジメント能力の育成，積極的・戦略的情報公開と家庭との連携，校長方針の浸透と学校力強化

●第3分科会（教育課程）

○研究課題：様々な危機に対応できる安全・安心な学校づくりと校長の在り方

○今年度の研究内容：いじめ・不登校・問題行動に早期に対応し未然防止に努める学校づくりの推進

◇提言：幕別町立札内北小学校 沼 田 拓 己

◇キーワード：ビジョンの明確化・共有化・実践化，教育課程と生徒指導の関わり，外部組織との連携，危機の未然防止と早期対応のための実効性ある組織づくり

●第4分科会（教育課題）

○研究課題：今日的な教育課題に適切に対応する学校づくりと校長の在り方

○今年度の研究内容：心身ともに健やかな子どもを育む健康教育の推進

◇提言：大樹町立大樹小学校 板 谷 裕 康

◇キーワード：主体的に働きかける潤いと勢いのある学校経営，体力向上を図る改善策の工夫，家庭・地域・関係機関と連携を図った健康教育・食育の推進，運動量の確保，啓発・躰・体験

（4）講 演

●演題「ふるさと十勝から広げる食育の在り方」

●講師 貫 田 桂 一 氏（フードディレクター）

・今回は、「どさんこワイド」などの多くのテレビ番組にもご出演し，札幌の有名ホテルでも料理長を務められたフードディレクター貫田桂一様に「ふるさと十勝から広げる食育の在り方」と題してご講演をいただいた。子どもを伸ばす十勝の食べ物，現代日本の食べもの，食と教育のしくみ，食と子どもの将来，という4つのお話は，大変貴重で切実感を強く感じる内容であった。また，知育・徳育・体育を司る重要な鍵は“食育”であることを再認識できるなど，多くのご示唆をいただいた。

3. おわりに

本研究大会は、私たち校長が1校を預かる最高責任者であることの自覚に立ち，第16次3か年計画の初年度として新たな試みを取り入れながら開催した大会となった。とりわけ，分科会の協議概要（キーワード）を，実物投影機を活用しながら全会員が理解し共有できたことは，「結びあい，高めあい」を趣旨に沿った取組であった。

今後も、「子どもの成長の歴史に責任を負う」本校長会の実践指標を念頭に，今次研究の成果と課題をしっかりと踏まえ，更に組織的な研究を推進するなど，管内各校の学校力の向上に資する取組の充実に努めていきたい。